

社 会 科

社会科で求める子どもの姿

社会的意味を、根拠を基にしながら友だちと共に考え続け、社会認識を深め、生活に生かそうとする子ども

「社会的意味」とは

学習指導要領に示されている「地域社会の社会的事象の特色や相互の関連」「社会的事象の意味」の総称のこと

「社会認識を深め」とは

多面的、総合的に社会的事象を知ったり、社会的なものの方や考え方を身に付けたりすること

「生活に生かそうとする」とは

社会生活に対してよりよい考えや自分なりの思い、願いをもったり、自分にできることを考えたりすること



育みたい資質や能力

求め続ける力

社会的な見方や考え方を生かし、学んだことや調べて得た事実、体験したことを基に、社会的意味を明らかにしていく力

共に学ぶ力

自分の考えと友だちの考えを比較・関連付けたり、互いの視点や立場に立って考えたりする力

見つめる力

自分や友だちの考えや思いを振り返り、社会的意味を考え直したり、社会的事象と自分とのかかわりに気付いたりする力



社会科で大切にしていきたいこと

(1) 教材の開発・配列の工夫

- 立場や視点を変えて考え続けることができるような教材の開発・配列
- 社会的事象と自分とのつながりを感じさせることができるような教材の開発・配列

(2) 多面的・総合的に社会的意味を考えるための教師のかかわり

- 子どもの考えの根拠の明確化
- 一人一人の考える立場や視点、根拠に基づいた話し合いのコーディネート
- 学び合う時間や場づくりの工夫

